

美里町長就任のあいさつ

～豊かさと幸せを実感できるまちづくりを皆さまと共に～

第4代美里町長就任にあたりまして、皆さまにご挨拶を申し上げます。

このたびの美里町長選挙におきまして、町民の皆さまをはじめ各方面から力強いご支持とあたたかいご厚情を賜り、2月5日をもって引き続き2期目の町政運営の重責を担わせていただくこととなりました。町政を担う責任の重大さを改めて痛感し、身の引き締まる思いと、美里町のたゆまぬ発展に精魂を傾ける決意を新たにしているところでございます。

平成26年の任期開始から4年間、この美里町をより良くするために何が必要かを考える上で、まずは町民皆さまが感じていること、町に求められていることを直接お聞きし、また私たちの思いを直接お伝えすることが重要と考え、多くの皆さまと対話をさせていただきました。時には厳しいお言葉を頂戴しながらも、たくさんのご意見、ご要望を伺う中で多くを学び、貴重な教訓を得て、1期目の町政運営に反映してまいりました。これからの4年間につきましても、引き続き皆さまとの対話を大切にし、まちづくりに取り組んでまいりたいと思っております。

さて、我が国におきましては、景気は緩やかな回復基調が続いているとし、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されております。しかし、消費税増税が予定されている中で、その財源活用に併せてプライマリーバランスの黒字化の先送りが改めて検討されており、依然として厳しい財政状況が続くものと考えております。

本町におきましては、普通交付税の減少に加え、社会保障費をはじめとした歳出が増加し、依然として厳しい財政状況が続いております。その中で、中学校の再編整備、保育所の待機児童の解消など、山積する課題解消に向けた取組が必要となっております。本町が将来にわたり持続可能な行財政運営を行っていくためには、まず債権管理をしっかりと行い、町税をはじめとした自主財源の確保と歳出の抑制に努めるとともに、町民の皆さまにもご理解とご協力をお願いしていかなければならないと思っております。

今後も常に危機意識を持って先を見据えた展望に立ち、行財政基盤の確立を図る最善の努力をするとともに限られた財源を有効かつ効率的に運用しながら、本町の将来像であります「心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち」の実現に向け、「美里町総合計画・美里町総合戦略」の各施策を着実に進めてまいります。皆さまには、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

ここに町政執行２期目のスタートにあたり、リーダーシップを十分に発揮しながら、２万５千町民の皆さま方と共に手を携えて、豊かさと幸せを実感できるまちづくりを着実に進めてまいりますことをお誓い申し上げ、就任のあいさついたします。